



コミュニティ・スクールだより

市Webページ

ベースアップ研修について

本年度は、各中学校区で開催される拡大学校運営協議会等において、ベースアップ研修を実施しています。県教委パートと市教委パートの動画・プレゼンを視聴した後、参加者全員で熟議を行います。

ベースアップ研修に関する事例を紹介します。

【県教委パート】

- ・学校運営協議会委員や地域学校協働活動推進員の役割
- ・熟議について
- ・県の推進指標について

【市教委パート】

- ・宇部市の所管説明について
- ・地域学校協働活動の好事例（原小学校）について紹介

1. 東岐波中学校区「ワールドカフェ方式による熟議」

東岐波中学校区（東岐波小・東岐波中）では、ベースアップ研修での熟議をワールドカフェ方式で行いました。

ワールドカフェ方式は、グループのメンバーが入れ替わりながら話し合いを進める手法で行うため、より多くの人と意見を交わし、対話を深めることができました。

熟議は、「小中一貫教育の充実に向けて何ができるか」というテーマで行われました。参加者全員が小中一貫教育、小中連携の目的を再確認するとともに、小・中学校教職員と学校運営協議会委員が、児童生徒の実態をお互いに関心することや教職員同士の交流の必要性を改めて感じ取ることができ、小中一貫教育、小中連携の取組の方向性を共有する有意義な研修となりました。



2. 琴芝小学校「原小学校の事例を参考に自校の方向性を見出す熟議」

琴芝小学校では、学校運営協議会で琴芝小の強みやめざす方向性を見出すことを目的として、ベースアップ研修の市教委パートで活動の好事例として紹介された、原小学校『CS プレゼンツ 2023』の動画を再度視聴し、熟議を行いました。

「原っ子宣言」や学校と地域のつながりのすばらしさがとても刺激になったようです。

熟議では、「琴芝小でもしていること」、「琴芝小でもやってみたいこと」、「琴芝小ではもっとできるこんなこと」について話し合いました。協議を進めていく中で、学校も地域もお互いの思いを伝え合うことの大切さを再認識でき、学校と地域のつながりを深める有意義な機会になりました。

